

国語科学習指導案

指導事項

- ・考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係づけること。

(A (1) ア)

1 教材名 未来の自動車 ―パネルディスカッションをしよう― (話す・聞く)

2 目標

意見のちがいを大事にしながらかし合い、考えを深めましよう。

3 学習計画

一次：パネルディスカッションの進め方を知る。

二次：パネルディスカッションをする。

三次：感想を発表をしよう。

4 10時間予定

1時間目 パネルディスカッションの話し合いの仕方について理解する。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「パネルディスカッションの話し合いの仕方について調べよう」を確認する。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。	
2 話し合いの種類について知る。	15	・今までの話し合いの経験を想起させる。 予想 ① クラスの考えを1つにまとめる。 ② いろいろな考えを出したあと多決で1つに決める。 ・このような話し合いを協議という。 ・パネルディスカッションは、考えを1つに、まとめることはしない。 p112をみて確かめ、分かったことをノートにまとめる。 ① 1つの論題について、パネリストが意見を述べ合う。 ② パネリスト・司会・フロアという役割がある。 ③ 論題について考えを深めることが目的なので、考えを1つにまとめることはしない。討論と言う。	
3 これまでの話し合いとの違いについてまとめる。 *DVDがあればみせた	20	・話し合いの目的が協議と討論の違い ・パネリストという役割 ・フロアの人も意見を言う。 *ユウチュウブに大学生のパネルディスカッション	

い。		があったので・・・雰囲気をつかませる。	
4 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

2時間目 パネルディスカッションの進め方を理解する。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「パネルディスカッションの進め方」を確認する。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。	
2 パネルディスカッションの進め方を確かめる。	10	・p113をもとに、パネルディスカッションの進め方を知る。 ・8つのことを行うが、読んだだけではイメージがつかめないの、カードを用意しておき、役割を意識させていきたい。 *準備するカード 司会 1 パネリスト 3 フロア 2 これを5セット準備しておき、役割のイメージを持たせたい。1グループ6名。	
3 パネルディスカッションの例を音読する。	15	・1回目→一斉 グループを作る。渡されたカードによりグループ作成。 ・2回目→自分の役割のところを練習 ・3回目→役割ごとに通読する。	
4 欄外の水色の注意書きをもとに、自分の役割についてまとめる。 まとめる 5 発表とメモ 10	15	・司会者 ・パネリスト ・フロア 上記の役割について発表する。 (話す力をつけるための訓練) その後、役割ごとに発表してもらい、発表内容を自分のノートにメモする。 (聞く力をつけるための訓練)	役割について理解している。(発表・ノートのメモ)聞く
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

3時間目 パネルディスカッションをする。(論題について話し合う)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「論題について話し合う」を確認する。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。	

パネリスト

パネリスト

パネリスト

司会：〇〇さん、質問が出ていますが、いかがでしょうか。

パネリスト：質問に答える。

司会：△△さん、よろしいでしょうか

パネリスト：ありがとうございました。

司会：フロアの2人は、今のパネルディスカッションについての感想を述べてください。

フロア1

フロア2

4時間目 パネルディスカッションをする。(論題について話し合う2)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「論題についての問題点を考える」を確認する。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。	
2 昨日決めた論題の問題点について各自ノートにまとめる。	10	・昨日の論題について、自分の経験や知識から問題点を書き出してみる。 ・問題点が出てこない場合は、自分で考えた他の論題で、考えてみる。	
3 現在の様子と問題点についてノートに整理する。	5	・2でまとめた課題を、次のような形で整理する。 ・現在のテレビは です。課題は次のことが挙げられます。・・・このようなことから、話し合いの観点は〇〇にしたいです。	
4 問題点をもとに、どんな観点で話し合うか、グループでのパネルディスカッションをする。	10	・本日の話し合いの目的を伝える。 ① 自分の論題に対する課題をどのように考えているか伝える。 *昨日の論題を考えた理由、本日考えた論題に対する課題と観点を伝える。 ② 話し合いの観点は、自分で考えたのでよいか。 ・カードを配布し、グループを編成する。司会者を決定。パネリストは、自分の考えを述べる。(話す訓練)、フロアは話し合いについて感想を述べる。(聞く訓練) フロアは、メモをとってよい。	自分の考えを述べている 「(発表・ノートのメモ) 話す
5 話し合いをした内容について発表をする。	10	・司会者は、全体の前で自分たちのグループのパネルディスカッションについて発表する。 *発表の仕方について教師が評価していく。(賞賛・こうするとよい)	
6 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。 ・明日の学習の予定：資料集めをする。	

話し合いの台本（論題について考えよう2）

司会：それではこれからパネルディスカッションの論題について話し合いを始めます。本日は、論題の課題について述べてもらいたいと思います。

パネリスト・・・さん、 司会は・・・です。

最初にパネリストがそれぞれ自分の考えを述べます。

みなさん、前回のパネルディスカッションでは、10年後にどんなものがあったらよいか考えました。本日は、論題の課題を聞いて、話し合いの観点について考えましょう。

パネリスト1：発言

パネリスト2：発言

パネリスト3：発言

司会：パネリストのみなさんありがとうございました。3人の課題と観点をまとめる
と「 」

では、お互いの意見を聞いて、質問や意見があったら発言して下さい。

パネリスト

パネリスト

パネリスト

司会：〇〇さん、質問が出ていますが、いかがでしょうか。

パネリスト：質問に答える。「それは、・・・ということでしょうか」使ってください。

（かくにんする。）→水色のところから

司会：△△さん、よろしいでしょうか

パネリスト：「先ほどの〇〇さんの考えから・・・」という言い方を使ってください。

（関連付け）→水色のところから

司会：フロアの2人は、今のパネルディスカッションについて質問や感想を述べてください。

フロア1 「・・・をくわしく教えてください。」という言い方を使ってください。

（質問するときの言い方）→水色のところから

フロア2 1の人と同様

5時間目 パネルディスカッションをする。（資料をさがす）

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「資料をさがす」を確認する。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。	
2 論題や論題の課題について確認する。	5	・論題や課題について確認し、検索するキーワードをノートに書き出す。 ・助言として二語のキーワードでの検索を進める。 例) 自転車 課題 入場料 価格の課題	
3 パソコンで検索する。	30	・最初の10分は立ち上げと検索のみ パネルディスカッションの際に必要な資料になり	パソコンで検索している。

		そうそうだと判断したものを印刷する。1人2枚まで必要な枚数を吟味してプリントアウトする。	
4 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 ・明日は、資料作りをすることを予告する。 	

6 時間目 パネルディスカッションをする。(資料を作成する。)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「資料を作成する」を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。 	
2 資料の作成をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションで活用する資料を作成する。 ① 昨日見つけた資料を活用して、自分の意見が伝わるように作成する。ポイントは、論題、並びに論題の課題の確認。その資料が有効であるか精査してから作成をする。 ② 資料が出来上がった人は、論題の課題について、もう一度読み直し、昨日検索した資料をもとに付け足し、自分の意見が伝わるように修正する。 <p>*仕上がらなかった場合は3連休中の宿題とする。火曜日にパネルディスカッションを実施する。</p>	<p>ろんだいにある資料を作成している。</p> <p>(資料) 話す</p>
3 作成した資料について、よさや改善点について交流する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した資料について、よさや改善点について交流させていく。交流のポイントについては、次の通りとする。 ① 論題と整合性があるか。 ② 伝えたいことが明確になっているか。 ③ 一目でわかるか。 ④ 濃さ・大きさ ⑤ 興味・関心がわくか。 	<p>パソコンで検索している。</p>
4 本時の学習の自己評価をする。また、次時の予告をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 ・火曜日に資料を使ったパネルディスカッションを行う。それまでに仕上げる。忘れない。 	

7 時間目 パネルディスカッションをする。(パネルディスカッション)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「10年後についてパネルディスカッションをしよう」を	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、3分程度でかけるようにする。 	

確認する。			
2 パネルディスカッションについて確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ① 目的 ② 役割 ③ 活用資料の効果 ④ パネルディスカッションの特徴 <ul style="list-style-type: none"> *④については教師が説明 ・相手の考えを論破するものではない。相手を批判しない。 例) そんなの無理ではないか ・相手の考えのよさを、自分の考えに取り入れるものである。 	
3 パネルディスカッションをする。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・グループになりパネルディスカッションをする。 ・終了したら、自分のよさを2つ。グループの友人のよさを2つノートに書く。 グループ内で交流 ・役割交代をする。 終了後は同様 	
4 全体の前でパネルディスカッションをする。 順番決め 5 パネルディスカッション 10	15	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の前でのパネルディスカッションの順番を決める。 ・代表によるくじ引き ・本日で12日で行う。 ・パネルディスカッションの形にして行う。 	パネルディスカッションをしている。(討論の様子、ノートのメモ) 話す・聞く
4 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	